

“スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-116)の状況”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

☆ミッションは順調に進行中

スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-116)は、12月10日午前10時47分(米国東部標準時間12月9日午後8時47分)に打ち上げられました。

ディスカバリー号は、打上げ後、センサ付き検査用延長ブーム(Orbiter Boom Sensor System: OBSS)を使用した熱防護システム(Thermal Protection System: TPS)の点検などを行い、12月12日午前7時12分に国際宇宙ステーション(ISS)にドッキングしました。これから3回の船外活動が予定されており、P5トラスのISSへの取付けやISSの電力系統の切替えを行います。電力系統の切替えが行われると、前回のSTS-115ミッション(2006年9月)でISSに取り付けたP4ト



ディスカバリー号の打上げ(提供: NASA)
STS-113ミッション(2002年11月)以来の夜間打上げとなりました。



ISSへのドッキング(提供: NASA)

ラスからの電力をISSに供給することができるようになります。ディスカバリー号は、12月22日午前5時36分(同12月21日午後3時36分)に帰還する予定です。

STS-116ミッションの最新情報や詳細は以下のホームページをご覧ください。

●STS-116ミッション

<http://iss.sfo.jaxa.jp/iss/12a.1/>(JAXA: 日本語)

http://www.nasa.gov/mission_pages/shuttle/shuttlemissions/sts116/

(NASA: 英語)

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”**☆最初のISS構成要素打上げから2944日経過しました****☆第14次長期滞在クルーのISS滞在は83日経過しました****☆ISS動向**

第14次長期滞在クルーのマイケル・ロペズ-アレグリア、ミハイル・チューリン、トマス・ライター宇宙飛行士は、ディスカバリー号(STS-116)の到着準備を整え、ISSに到着したクルー7名を迎えるました。ロペズ-アレグリア、チューリン両宇宙飛行士は、ディスカバリー号がドッキング前にISS下方で行ったランデブー・ピッチ・マヌーバ(縦方向に360度回転)中に、ISSからディスカバリー号の熱防護システム(TPS)の損傷を検査するための写真撮影を行いました。

ISSに到着したスニータ・ウィリアムズ宇宙飛行士は、ライター宇宙飛行士と交替し、正式に第14次長期滞在クルーとして約6ヶ月間のISS滞在を開始しました。ライター宇宙飛行士はディスカバリー号に搭乗して帰還します。



第14次長期滞在クルーとISSに到着したディスカバリー号のクルー(提供: NASA)

“インフォメーション”**☆宇宙日本食の認証基準公開**

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、宇宙日本食のISS搭載に向けて、認証基準を定めました。宇宙日本食とはJAXAがISSに滞在する宇宙飛行士に供給する宇宙食で、食品製造業者が申請した食品は、この認証基準に従って審査され、基準を満たす食品は宇宙日本食として認められます。

宇宙日本食や認証基準の詳細は以下のホームページをご覧ください。

●宇宙日本食 <http://iss.sfo.jaxa.jp/spacefood/>



日の丸弁当とみそ汁(STS-87)

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

Wi-Fiクリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼう Wi-Fiクリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本Wi-Fiクリーニュースから転載した旨を記述ください。